

カセ鳥ファイト

上山市民が応援グッズ

きょう11日に上山市内で繰り広げられる奇習「カセ鳥を盛り上げよう」と、市民が「応援グッズ」を製作した。市内の衣料品店がオリジナルのトレーナーを、手編み作品に取り組み主婦はアクリルたわしを使ったカセ鳥の人形を作り、当日に販売する。温かい「後押し」を受けた加勢鳥（かせどり）保存会の高橋義明会長は「心意気にとても感激している。本番に向けて気合が入った」と喜んでる。



上山市の民俗行事「カセ鳥」を盛り上げようと製作されたオリジナルのトレーナー。イベント会場や上山城などで販売される

トレーナーとたわし人形

トレーナーを作ったのは、村正浩さんの協力を得て、矢来1丁目の井上系屋。これまで上山のシンボルであるかかしのロゴ入りTシャツを作っており、今回はカセ鳥に合わせ企画した。市内のクラフト作家亀

めた」と話す。雑貨作りなどに取り組む市内のグループ「かみのやま手づくりショップ」こ

50着限定で、色は黒、赤、こ（代表の主婦枝松祐子さん（十日町）はカセ鳥の人形を製作。アクリルたわし

はS、M、Lでいずれも2900円。当日は同店のほか、上山城のかかし茶屋、JRかみのやま温泉駅前の旧山交バス待合所で販売する。同店の井上真一代表取締役は「カセ鳥は商売繁盛カセ鳥を多くの人に知ってもらい、盛り上げていきが低迷して暗い時代だからこそ、カセ鳥の力で元気に使ってほしい」と話している。

デザイン 山辺のニッ

山辺町特産のニッしよつと、「ニッ10日、町内のニッ各社の製品を展示のベニツトセレク10」が町役場上始まった。

東北電力のエネルギー川柳表彰式

「えねせん」大賞は2点

川柳を通して身近なエネルギーについて考えてもらおうと東北電力山形支店が県内の小中学生から募集した「第4

回東北電力やまがたエネルギー川柳「えねせん」大賞」表彰式では、斎藤孝志執行役員山形支店長が入賞者一人

年湯川雄妃(山形六中2年)

- ◇佳作
- ▽小学生の部 杉浦碧(東根市長瀬小1年) 樋口雄大(米沢南部小1年) 武田茜(山形市山寺小2年) 鈴木梨奈(酒田市富士見小5年) 渋谷奈奈(遊佐町吹浦小6年)

- ▽中学生の部 菅原耕也(白鷹東中1年) 鈴木頌恩(米沢三中1年) 伊藤駿(寒河江市陵西中2年) 国井直道(同3年) 小林佑美(山形市高橋中3年)
- ◇学校賞 山形十小、川西二中

2個人7団体を顕彰

表彰式

ンティア愛好会が十数年間、学校周辺の環境美化活動を続けている。野球部は今春の第82回選抜高校野球大会の出場に21世紀枠で選ばれており、このような取り組みも評価された。市川市長は席上、「選抜大会では市民が山形中

優しい色 植物の冬の

山形の志鎌さん 植物案内人志鎌